

# 図書館職員養成課程開講科目（筑波大学の例）

## ○ 筑波大学情報学群 知識情報・図書館学類 の例（学部レベル教育）

大学において修得すべき図書館に関する科目

区分	図書館法施行規則に定める科目		本学における開設授業科目		備考	
	科目	単位数	授業科目	単位数		
甲群 必修 12科目・18単位	生涯学習概論	1	生涯学習と図書館	2	知識情報・図書館学類	
	図書館概論	2	図書館論	2		
	図書館経営論	1	経営・組織論	2		
	図書館サービス論	2	情報サービス経営論	2		
	情報サービス概説	2	情報学概論 情報サービス構成論	2		いずれか1科目選択
	レファレンスサービス演習	1	知識情報演習Ⅱ	2		
	情報検索演習	1	情報基礎実習	1		
	図書館資料論	2	コレクションとアクセス	2		
	専門資料論	1	学術メディア論	2		
	資料組織概説	2	知識資源組織化論	2		
	資料組織演習	2	知識情報演習Ⅰ	2		
	児童サービス論	1	メディア教育と発達	2		
	乙群 選択 2科目・2単位以上	図書及び図書館史	1	図書館文化史論		2
資料特論		1	日本図書館学 中国図書館学 デジタルドキュメント	2		
コミュニケーション論		1	知識形成論	2		
情報機器論		1	情報基礎	2		
図書館特論		1	デジタルライブラリ インターンシップ	2	いずれか1科目選択	

(備考) 1 図書館に関する科目として修得した単位は、各学群の履修規則の定めるところにより、卒業要件の単位として参入できます。  
2 所定の単位を修得した者には、図書館に関する科目の「単位修得証明書」を発行します。卒業後に学歴成績簿管理・システム担当（大学本部棟2階）に申し込んでください。  
司書資格の証明を求められた場合には、「単位修得証明書」と「卒業証明書」を提出してください。

大学において修得すべき司書教諭講習に相当する科目

学校図書館司書教諭講習規程に定める科目		本学における開設授業科目		開設学群・学類等
科目	単位数	授業科目	単位数	
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	2	知識情報・図書館学類
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2	
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2	
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2	

(備考) 司書教諭講習に相当する科目として修得した単位は、各学群の履修規則の定めるところにより、卒業要件の単位として参入できます。  
司書教諭の資格を取得するためには、司書教諭講習に相当する科目を全て修得した後、学校図書館法第5条第3項の規定に基づく「学校図書館司書教諭講習」に、書類参加の手続きが必要です。手続方法については、掲示でお知らせします。

企業経営能力を有する開発者など、多様な視点を持った人材が必要とされており、実際にそうした人材を輩出しています。また、知識情報・図書館学類では、キャリア・コンサルタントによる個人指導などのサポートも行っていきます。

### ■ 資格取得と採用試験に対するサポート

将来へのきっかけとして、大学在学中に資格取得を考えてみるのもいいでしょう。資格取得はスキルアップにもなりますし、自分への自信にもつながります。将来、どのような職に就いても、「知識」と「経験」はかならず力になります。

知識情報・図書館学類では司書資格、司書教諭資格、教員免許状が取得できます。司書教諭資格は、司書教諭科目を履修し教員免許状を取得することで取得できます。教員免許状は、中学校教諭一種免許状（社会・数学）と高等学校教諭一種免許状（公民・数学・情報）が取得できます。

また、自分の可能性を広げるための、TOEIC (Test of English for International Communication) や TOEFL (Test of English as a Foreign Language)、初級システムアドミニストレータ試験、基本情報技術者試験、経営学検定試験（初級）などの受験を勧めています。

なお、公務員採用試験受験者のため、独自の教員試験対策を行なっています。2008年度は、2年次の9月から4年次の6月にかけて、合計44回の模擬試験を随時実施しています。また、公務員採用試験の受験スタッフに応じて、志望理由書の執筆、機関訪問の準備、2次試験の面接に向けたアドバイスなど、きめ細かなサポートを行なっています。



## 卒業生の主な進路

